

社会的投資として次世代を担う子ども達を応援してください！



私たちは認定NPO法人です。認定NPO法人への寄付は、税制優遇の対象になります。

マンスリーサポーター

1,000 円/月

2,000 円/月

3,000 円/月

5,000 円/月

10,000 円/月

一回のみのご寄付・企業様からのご寄付も大歓迎です！
詳しくはエデュケーションエキューブウェブサイトから！



〒819-0043 福岡県福岡市西区野方 1-19-33

Web <http://education-a3.net/>

Email info@education-a3.net

<https://www.facebook.com/Education.A3/>

[education_a3](https://www.instagram.com/education_a3)



年次報告書
ANNUAL REPORT

10th

2022.7~2023.6

おかげさまで10期目を迎えました。

~全ての子ども達が自分らしく幸せに生きていける社会に~
認定 NPO 法人エデュケーションエキューブ

ご挨拶

様々な形でご支援いただいた皆さまに
心より感謝申し上げます。

ステークホルダーの皆様

この度、私たちNPO法人エデュケーションエーキューブは設立から10年を迎えることができました。これは、役員、スタッフ、寄付者、保護者の皆様をはじめとする、法人の活動を支えてくださったすべての方々のご支援のおかげです。これまでのご支援とご協力に、心より深く感謝申し上げます。

当法人は、創業時から一貫して経済格差による教育格差を是正することを目的として活動を展開してまいりました。この10年で問題は一層深刻化し、私たちの支援対象も設立当初の「塾に通えない子どもたち」から「学校に通えないすべての子どもたち」へと拡大しています。不登校の子どもたちが増加している現状は日本の教育システムにおける課題を浮き彫りにするものであり、その解決のため、「スタディプレイス」の活動は学校の代わりとなる場を提供するオルタナティブスクールへと進化しました。

今後の10年において、私たちはさらに大きな目標を掲げます。それは、学校の代わりとなる選択肢を日本中の子どもたちに提供し、彼らに変化の激しいVUCAの時代に自分らしく、幸せに生きていけるようサポートすることです。この目標に向かい、より一層の努力を重ねてまいります。

皆様におかれましては、これまでのご支援とご協力に改めて感謝を申し上げますとともに、今後とも継続的なご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。私たちの活動が皆様の期待を超える成果をもたらすことができるよう、今後も努めて参ります。

いつも私たちの活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。学校に行けない／行かないことは決してダメなことではない、普通のことだ。言葉だけであれば、誰にでも言えることかもしれません。しかしながら、学校に行けない／行かない選択をした子どもたちがアクセスできる学びの場は未だ限られている現状があり、子どもたちの誰もが不安なく学校以外の選択をすることは、残念ながらまだ難しいと言わざるを得ません。

冒頭の言葉を問題なく当たり前と言えるようになるためには、学校に代わる選択肢の数が必要だと思っています。私たちはその選択肢の一つとして、オルタナティブスクールの運営を行っています。私たちの活動が大きくなり、注目を浴びることで、現在の限定的で狭い選択肢の幅を拡大することができ、子どもたちが安心して学校以外の学びにアクセスできるようになります。私たちは今後も活動を拡大し、学校以外の学びと体験の場や機会を必要としている日本のすべての子どもたちに、できる限り多くの機会を提供したいと考えています。

皆様の引き続きのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。



代表理事 草場 勇一



副代表理事 佐村 礼二郎
エー・アイ・キャピタル株式会社
代表取締役社長 CIO

法人について

MISSION ミッション

子ども達が自分らしく
幸せに生きていける社会に

VISION ビジョン

誰もが参加できる
公正な教育の場を提供する

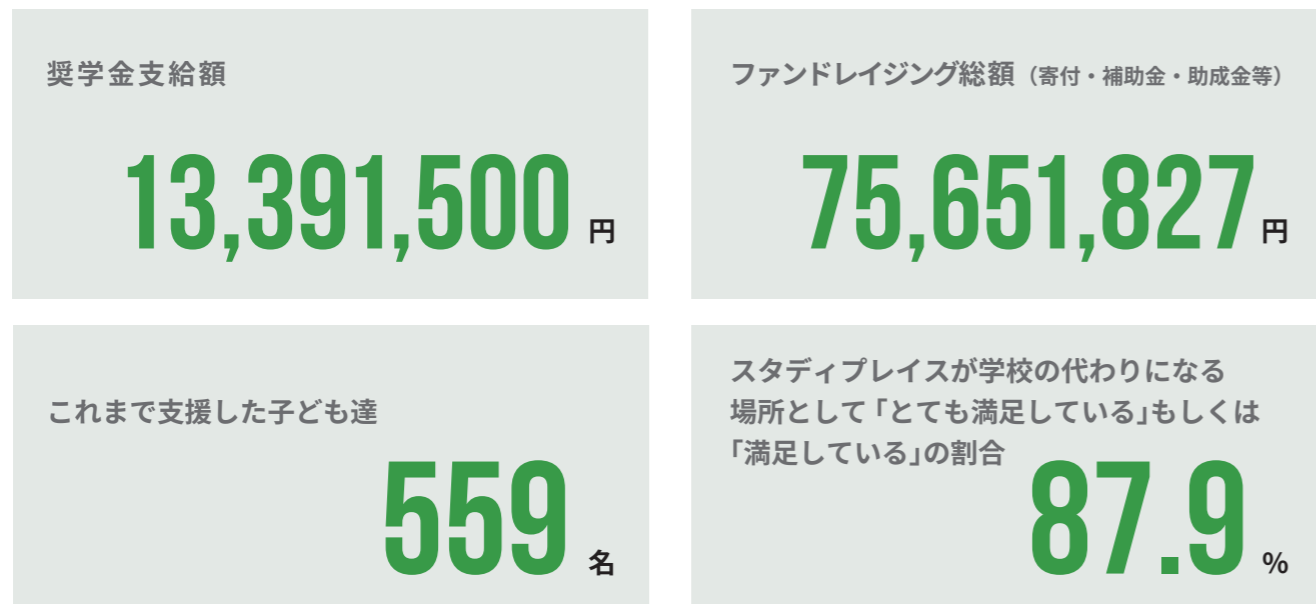
法人概要

名称	NPO法人エデュケーションエーキューブ			
所在地	野方校：福岡県福岡市西区野方1-19-33 箱崎校：福岡市東区箱崎6-14-18 春日原校：福岡県大野城市筒井2-2-26			
設立	2013年8月2日			
事業内容	学校に通えない子どもたちの為のオルタナティブスクール運営			
理事	 竹井 雅文 修学館 元館長	 伊藤 尚毅 アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー	 原口 唯 株式会社YOUI 代表取締役	
監事	 伊藤 雅浩 シティライツ法律事務所 弁護士	 山本 教貴 山本公認会計士・税理士事務所 公認会計士／税理士		
正会員 (五十音順)	 伊藤 雅浩 さま シティライツ法律事務所 弁護士	 原口 唯 さま 株式会社 YOUI 代表取締役	 増山 秀信 さま 株式会社 StoreHero 取締役	 渡邊 康治 さま Hello Tomorrow Japan Director
	 伊藤 尚毅 さま アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージングパートナー	 小村 富士夫 さま 株式会社Jスタイル 代表取締役	 見満 周宜 さま Yosemite LLC 代表	 山本 教貴 さま 山本公認会計士・税理士事務所 公認会計士／税理士
	 佐村 礼二郎 エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 CIO	 草場 勇一 NPO法人エデュケーションエーキューブ 代表理事		

10年間の歩み



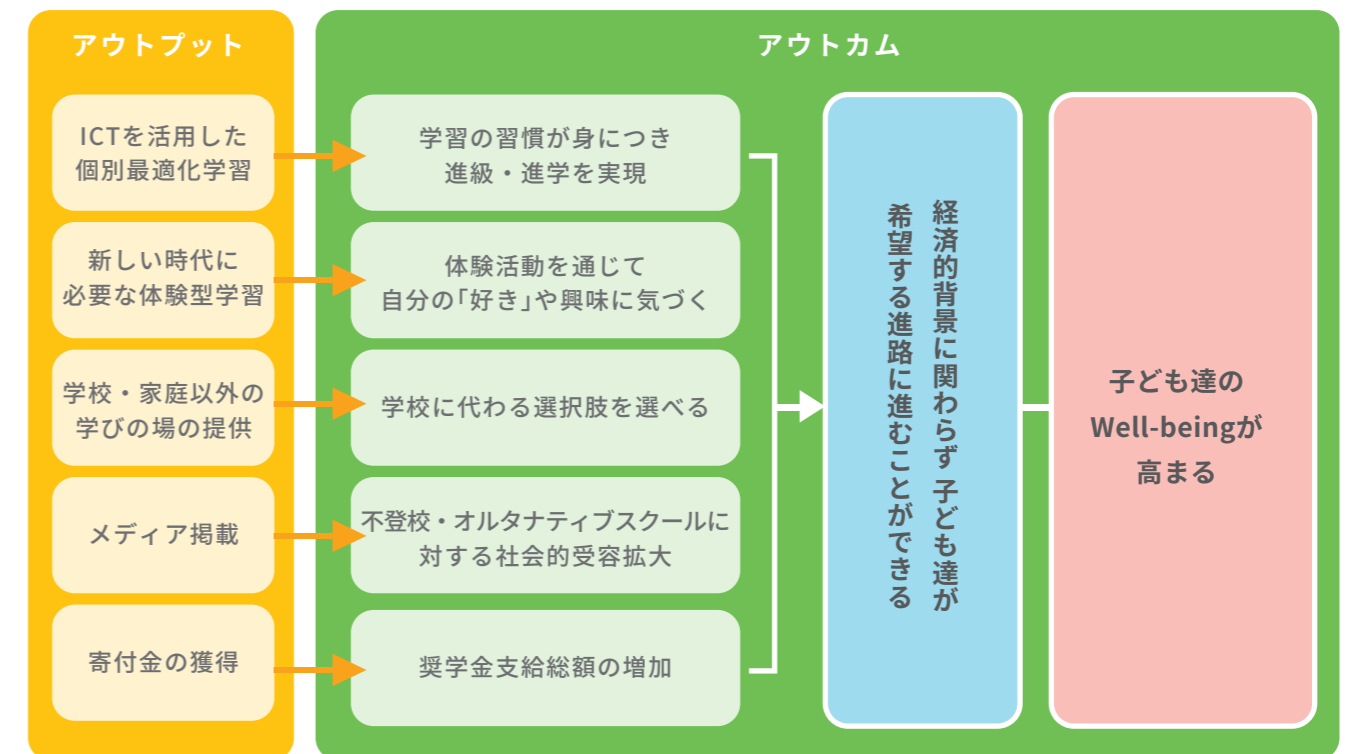
数字で見るエデュケーションエーキューブの10年間



ロジックモデル

日本の伝統的な学力中心の教育システムにより、学校に通うことができない子どもたちが存在しています。さらに、学校以外の選択肢となるフリースクールやオルタナティブスクールは、金銭的な負担が大きく、そのために通えない子供たちもいます。

スタディプレイスは、新しい時代に求められる知識、スキル、マインドセットを身につけるための学校に代わる選択肢を提供することで、すべての子供たちが自分らしく、幸せに生きることができる社会の構築を目指します。



取り組んでいる 社会課題-1

子どもの貧困と教育格差

日本でも貧困で苦しむ子どもたちがいます。貧困は子どもの教育や体験の格差を生んでいます。これらの格差は、次世代の子どもの貧困にもつながります。今の日本は生まれ育った環境で差がつき、子どもたちの未来を制限してしまっています

01 約7人に1人の子どもが貧困状態

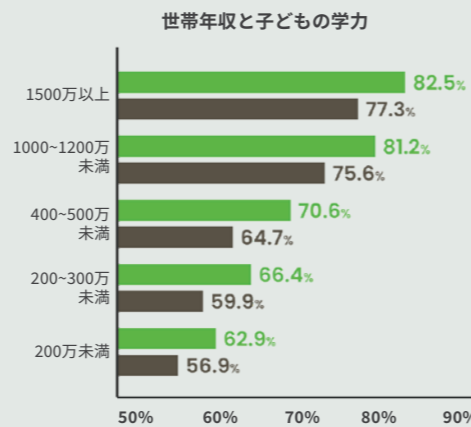
日本の子どもの13.5%が相対的貧困状態にあります。相対的貧困とは、平均所得の半分以下の水準で生活する状態のことを指します。約7人に1人の子どもが、大多数よりも苦しい生活をしているのです。



02 経済的背景が教育格差につながる

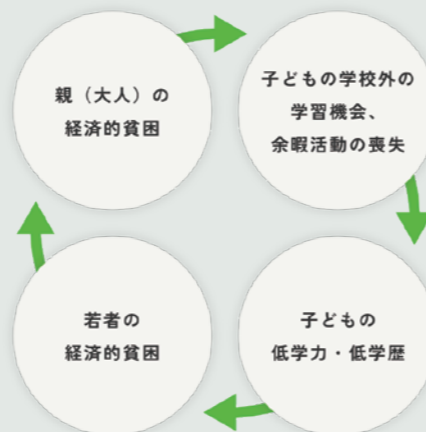
世帯収入は学力と非常に高い相関関係にあります。これは、他の子どもたちのように塾に通わせる余裕がないことや、落ち着いて勉強できる家庭環境がないこと、そしてより低年齢のうちに家庭で培われる生活習慣や基礎的な学力が不足することによるものです。

■ 正解率 算数 ■ 正解率 国語



03 世代を超えて貧困は固定化する

家庭の経済格差は、子どもたちから学習の機会やさまざまな体験活動の機会を奪うことにつながります。また、これは新しい時代に必要な知識やスキルを得る機会も制限します。教育機会に恵まれなかった結果、低学力・低学歴になってしまった子どもたちは、社会に出た時に低所得の職業につかざるを得ず、その結果、貧困は世代を超えて連鎖し、固定化するのです。



出典：厚生労働省(2020)「2019年国民生活基礎調査の概況」、お茶の水女子大学(2014)「平成25年度 全国学力・学習状況調査(きめ細かい調査)の結果を活用した学力に影響を与える要因分析に関する調査研究」

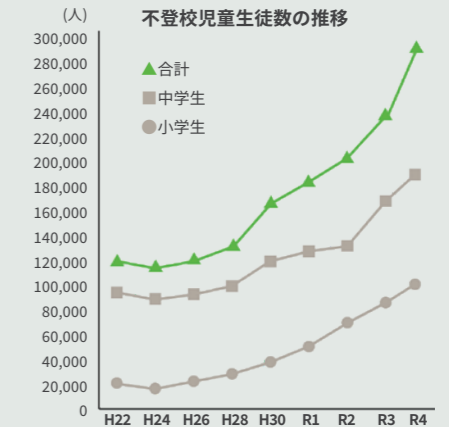
取り組んでいる 社会課題-2

不登校の現状

私たちは、教育には「子どもたちの将来の可能性を広げ、人生を変えることができる」力があると信じています。しかし、現在の日本社会には深刻な不登校問題が存在し、その教育すら受けることができない子どもたちがいます。

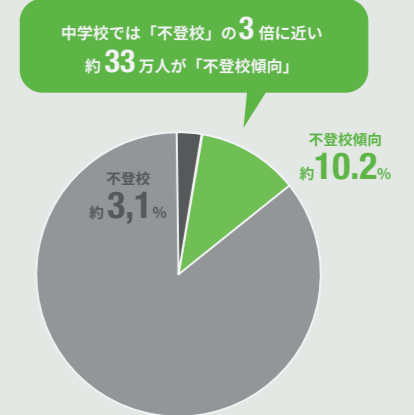
01 小中学校の不登校 29.9万人で過去最多

2022年度の小・中学校における不登校児童生徒数(30日以上欠席)は、過去最多の29.9万人でした。前年度の24.4万人から22%増と増加傾向が続いています。なかでも90日以上長期欠席児童数が全体の約69%を占め、20万人超の子どもたちが教育を受ける機会を失っていることが分かります。



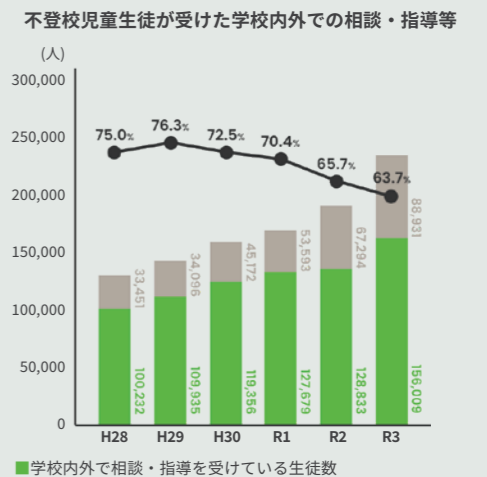
02 不登校の影に隠れた「隠れ不登校」の存在

日本財団の調査によると、学校の校門までしか行けないケースや、教室外の保健室や別室に登校する「部分登校」、教室には入れるものの他の生徒と違うことや授業にまったくついていけないことができない「仮面登校」を含めると、不登校の3倍に近い33万人が「不登校傾向」にあります。



03 社会から孤立していく子ども達

不登校児童の36.3%に当たる約8.9万人が、学校内外で何らの相談・指導等を受けることができておらず、社会から隔離された状態にあります。相談できたとしても、相談を受ける機関の質・量・ネットワーク・支援の担い手が不足しており、適切な居場所や支援に繋がるケースは決して多くありません。



出典：文部科学省「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」、日本財団(2018)「不登校傾向にある子どもの実態調査」

オルタナティブスクール 「スタディプレイス」

スタディプレイスは、子どもたちが“新しい時代”に、その子らしく“幸せに生きていく”ために、必要な“知識・スキル・マインドセット”を得る学びや体験を提供する“オルタナティブスクール”です。スタディプレイスに通うすべての子どもたちが所属校の出席扱いになっています。

スタディプレイスの目指す姿 = “学校の代わりになる新しい場所”



ICTを活用した
個別最適化学習

ICTを活用し、目標や学力レベルに合わせて自分のペースで学ぶ個別最適化された学習環境を提供しています。



新時代に必要
学び・体験

新しい時代に子どもたちが必要となる知識やスキルを身につけることができる学びや体験の機会を提供しています。



費用負担が少なく
誰もがアクセスできる

経済的に厳しい環境の子どもでも利用できるように独自の奨学制度を提供しています。

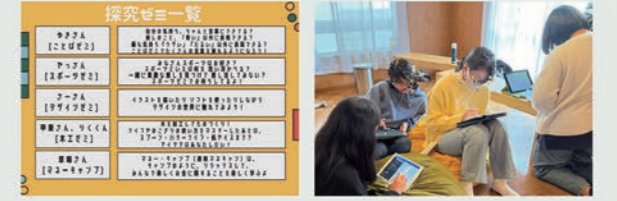
具体的な取り組み

ICTを利用した個別最適化学習



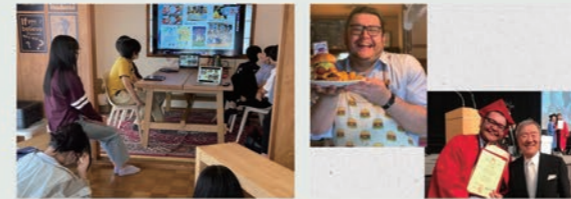
子どもたちにはひとり一台のiPadを準備し、自分の目標や学力レベルに合わせて自分のペースで学ぶ個別最適化された学習環境を提供しています。eラーニングでの学習によって、子どもたちは自ら計画を立て自ら学ぶ力を養い、基礎学力を身につけています。

探究学習



子どもたちの興味関心を深めて課題解決の力をつけるため、探究学習を実施しています。子どもたちは自分の好きなことや興味関心から、調べたいテーマや疑問に思う問いを立て、自分の力で調べ学習を行います。学期の最後には発表会を実施し、探求の成果を共有しています。

魅力的な大人プロジェクト



子どもたちが将来を思い描き夢を持つきっかけとなるよう、社会の多様な分野で自分らしく活躍されている方々にご講演いただいています。今期はクリエイティブな活動をされている方や起業家、特定分野の専門家などをお迎えし、多様な生き方や仕事、キャリアの在り方などをお話いただきました。

グローバルシチズンシップ教育



次世代を担う子どもたちの将来の可能性を広げるため、海外について興味・関心を持てるような機会を提供しています。毎月、外国のゲストスピーカーとzoomで繋いでお話しいただいております。今期は南極以外の6地域13ヶ国からゲストをお招きしました。

クリエイティビティ



これからの時代に必要となる、0から1を生み出す能力を育むための想像的な活動を実施しています。今期は、レゴを使った創作活動、プログラミングでの作品制作、STEM教育カリキュラムの実施、音楽体験などに挑戦しました。

校外活動



月に1回のペースで校外活動を実施しています。今期も、科学館・博物館・美術館への訪問、デイキャンプなどでの「本物」に触れる体験や、アイススケートやスポーツ大会で身体を動かす経験、キャリア教育の一環としてキッザニアでの職業体験など、多岐にわたる活動を行いました。

特別奨学制度

スタディプレイスでは、経済的に厳しいひとり親世帯や生活保護世帯の子ども達を対象に授業料の50~70%を免除する奨学制度を設けています。

日本のひとり親世帯（母子家庭）の平均世帯年収は、わずか197万円に留まっています。さらに、母子家庭の71%が収入200万円未満と、子どものいる世帯の平均に比べ経済的に非常に厳しい状況に置かれています。ひとり親世帯(母子家庭)の保護者の80.6%が働いているにもかかわらず、ひとり親世帯の

相対的貧困率は高く、日本のひとり親世帯の子どもの貧困率はOECD35ヶ国の中でワースト1位となっています。スタディプレイスの特別奨学制度は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯や生活保護世帯、また特別な事情で経済的困難を抱えている世帯を対象に、授業料の50~70%を免除しています。

特別奨学制度 利用者の声

母子家庭で保護費で家計を支えていますので特別奨学制度があるのはとても助かります。教育、進学という時に必ず費用がかかって家計を圧迫することから十分な教育を受ける事が難しい中で、こちらの制度を利用できる事で子供達に学びの環境を整えてあげられる事が非常に助かっております。支援者の方々へ感謝いたします。



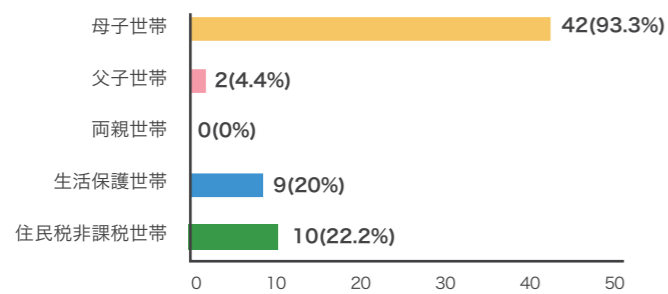
特別奨学制度を利用していることで、兄妹の習い事や食費に使えるので大変助かっています。特別奨学制度がなかったら、スタディプレイスさんへ通えないです。本当にありがとうございます。



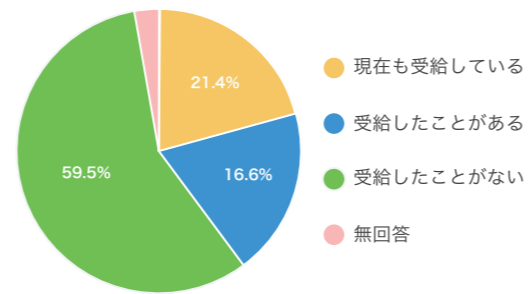
アンケート結果

世帯背景 ひとり親世帯が97.7%を占め、養育費を受給したことがない世帯が59.5%

【現在もしくは奨学金制度利用時の世帯状況を教えてください】
45件の回答

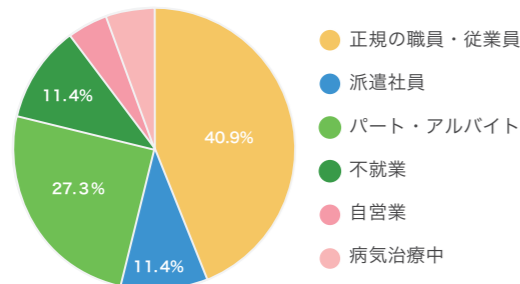


【養育費の受給状況について教えてください】
42件の回答

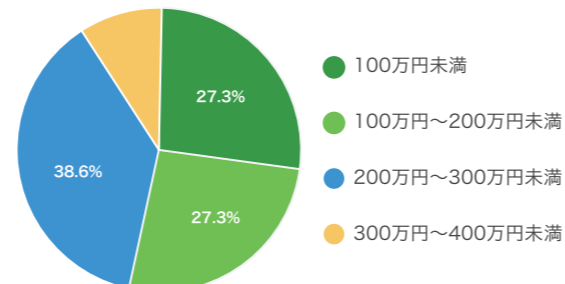


就業状況と世帯年収 就業している保護者が86%を占めるが、年収300万円未満が93%

【現在もしくは奨学金制度利用時の就業状況について教えてください】
44件の回答



【昨年度の平均収入について教えてください】
44件の回答

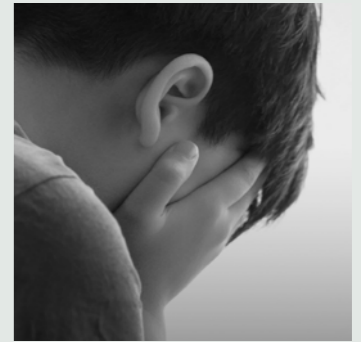


ケーススタディ

SCENE 1

僕は、僕のままじゃ駄目なのか？

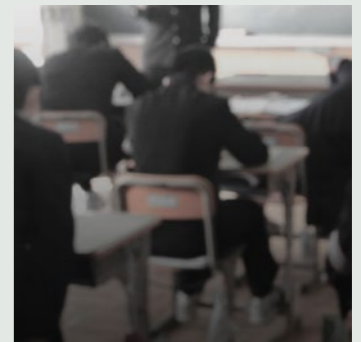
中学校に通う「苦痛」にNさんが耐えられなくなったのは、1年生の頃だった。「しゃきっと座って話を聞きなさい」。担任からの度々の注意にNさんが理由を尋ねても、「駄目なものは駄目」。疑問と「自分の存在が否定されている」という感覚で、学習どころではなかった。「どうしても学校に行かないといけなの？」意を決し、母親に聞いた。母親は事情を詳しく聞き、「行かなくていい」と答えた。Nさんの特性を伝えたが、学校の対応は変わらなかった。



SCENE 2

学校以外に学ぶ場所はないのか？

母親は、スクールソーシャルワーカーに相談し、「スタディプレイス」を紹介された。親子で見学し、Nさんはタブレット端末を使った学習方法に惹かれた。母親も家庭的で明るい雰囲気が気に入った。懸念は月3万7600円の授業料。しかし、スタディプレイスはひとり親世帯や生活保護世帯などを対象に授業料の一部を免除する全国でも数少ない奨学制度がある。この制度の適用が、Nさんを安心させた。



SCENE 3

スタディプレイスと出会わなければ引きこもっていた

通い始めたものの、「学校の代わりに義務感で行く場所」という意識が拭えないNさん。学習せず好きなウェブサイトの閲覧に没頭した。どうすれば学習に意識が向くのか、スタッフ達は会議で何度も検討し、Nさんとも腰を据えて話し合った。10カ月が過ぎた頃、「高校に行けるのだろうか」と焦りが募り、Nさんに学習のスイッチが入った。自信を育てるため、スタッフはまず、得意な社会の学習を提案した。Nさんは時事ニュースを自主的に調べ、スタッフと議論するように。苦手な漢字も覚え、漢字検定にも合格。その後、Nさんはこう口にした。「もし、スタディプレイスに出会わなかったら、家に引きこもっていた」。



SCENE 4

新たな道を切り開く

Nさんはやがて、中学校の授業や行事のうち、自分に興味があるものを選んで通学できるようになった。第一志望校にも合格。スタディプレイスの卒業式では卒業生を代表して答辞を読み、母親に「これまで見守ってくれてありがとう」と感謝を伝えた。母親は宿直がある仕事をしているが、Nさんが不安定な間は避けていた。Nさんが学ぶ意欲と自信を取り戻したことで、宿直ができるようになり、収入の改善にもつながった。



01 西日本新聞とクラウドファンディング実施

2022年11月～2023年1月、西日本新聞社様と共同でクラウドファンディングを行いました。当プロジェクトは不登校の子どもたちの学びの場の維持と拡大を目的に実施し、期間中は西日本新聞社様により不登校に関する記事が毎週報道されました。その結果、目標の150名を上回る169名の方々にご支援をいただくことができました。ご支援いただいた寄附金は施設運営等に活用しており、第10期には83名の子どもたちのサポートを実現しています。ご支援いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。一人でも多くの子どもたちが学校以外の選択肢にアクセスできる社会を目指し、今後も努力してまいります。



02 ホームページリニューアル

設立10周年を機に、ホームページを全面的にリニューアルしました。デザインを一新し、子どもたちの様子や私達の活動について、より視覚的で分かりやすいページ構成になりました。また、カリキュラム詳細も最新の情報を掲載しているほか、日々の活動の様子が分かるブログやSNSへのHPからのアクセスとアップデートの頻度も改善しました。さらに、私たちの活動内容や意義を一目でご理解いただけるページ「1ページでわかるエデュケーションエーキューブ」を新たに作成しています。是非、ご一読いただけますと幸いです。



【NPO法人エデュケーションエーキューブ公式HP】
<https://education-a3.net/>



03 法人サポーターとの協業

オルタナティブスクールとしての付加価値を高めるため、法人の支援者様にご協力いただき、共同の取り組みをいくつか実施しました。子どもたちの体験格差を無くすための活動をしているソニーグループ平井前社長様には、ご講演いただく機会を賜り、ご自身が幼少期から社会人になった後もアウトサイダーだったこと、子どもたちが自分の進路決定をする際に大事なことなどをお話いただきました。また、企業としての社会的責任を果たすプログラム「EY Ripples」を展開するEY様からは、メタバース体験と問題解決に向けた思考方法であるデザインシンキングを学ぶ次世代教育プログラムをご提供いただきました。



活動計算書 (2022年7月1日～2023年6月30日)

科目		金額 (円)
経常収益	受取会費	正会員受取会費 100,000
	受取寄付金	受取寄付金 9,312,742
	受取助成金等	受取助成金・補助金 4,718,293
	事業収益	スタディプレイス事業収益 15,925,806
	その他収益	94,062
経常収益計		30,150,903
経常費用	事業費	人件費計 14,469,575
		教材費/教育活動費 1,953,497
		業務委託費 2,944,466
		賃借料 3,732,000
		減価償却費 851,539
		租税公課 794,400
		その他経費計 3,404,711
		事業費計 28,150,188
	管理費	人件費計 1,281,352
		その他経費計 344,547
経常費用計		29,776,087
当期経常増減額		374,816
税引前当期正味財産増減額		374,816
法人税、住民税及び事業税		171,018
当期正味財産増減額		203,798
前期繰越正味財産額		1,940,354
次期繰越正味財産額		2,144,152

【解説①】
 収入は前年比116%の30,150千円となりました。内訳としては、事業収入が15,925千円（前期比111%）となり、全体の52%を占めました。寄付金は、西日本新聞社とのクラウドファンディングとSMBCライジング基金の大口寄付により、9,312千円（前期比177%）となりました。前期と比べ、事業収入と寄付収入の増加により、安定的な収入が増加しております。

【解説②】
 費用は、事業収益の伸びに伴い、前年比110%の29,766千円となりました。オンラインを含む拠点運営の効率化により、人件費と業務委託費は17,414千円（前期比97%）となり、黒字化できました。

【解説③】
 貸借対照表については、減価償却及び長期借入金返済により、総資産合計が減少し、16,724千円（前期比97%）となりました。

貸借対照表 (2023年6月30日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額 (円)	科目	金額 (円)
流動資産	現金・預金	流動負債	流動負債 合計 2,980,766
	売上債権	固定負債	長期借入金 11,600,000
	その他流動資産		固定負債 合計 14,580,766
	流動資産 合計	10,597,219	
	固定資産	有形固定資産 3,719,699	正味財産の部
	無形固定資産 1,298,000	正味財産	前期繰越正味財産額 1,940,354
	投資その他の資産 1,110,000		当期正味財産増減額 203,798
	固定資産 合計 6,127,699		正味財産 計 2,144,152
資産の部 合計	16,724,918	負債及び正味財産 合計	16,724,918

活動計算書及び貸借対照表が、エデュケーションエーキューブの2023年6月30日をもって終了する事業年度について業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財政状態を適正に表示しているものと認めます。

監事 伊藤 雅浩
 シティライツ法律事務所 弁護士

監事 山本 教貴
 山本公認会計士・税理士事務所 公認会計士/税理士

支援者の皆様

エデュケーションエキュープの様々な活動は、個人・法人の皆さまの資金やノウハウのサポートによって成り立っています。私たちの活動をご理解・ご支援いただき、ありがとうございます。

マンスリーサポーター

183名

アニュアルサポーター

54名

法人の皆さまからのご支援

エデュケーションエキュープはこれまで、様々な企業・団体との連携・支援を通じて、子どもたちに学びの選択肢を届ける活動をおこなってきました。これからも、大切なパートナーである企業・団体の皆さまとの協働を通じて「自分に合った学びを選択できる社会」の実現を目指していきます。

支援事例

EY Japan様

最新デジタルテクノロジーを学ぶプログラム提供



ギャップジャパン様

子ども達が広報・販売を行うフリーマーケットプロジェクト



設立からご支援頂いた皆さま

accenture



EY Building a better working world

Project KIBO

むらがみひろし歯科医院

西日本新聞

九州オープンイノベーションセンター / 子どもの未来応援基金 / パナソニックNPOサポートファンド 他

今後の展望

日本全国で学校以外の学びの選択肢を広げる新しい試み オルタナティブスクールのプラットフォーム事業

私たちは、課題を抱える小規模フリースクールや学校に通えない子どもたちへの支援を検討している学習塾の方々に向けて、スタディプレイスが培ってきたノウハウを提供し、新たなオルタナティブスクールの運営を共にサポートしています。プラットフォーム事業は、日本全国で学校に代わる新たな選択肢を増やしていくための新しい試みです。

私たちは、パートナーとしてスクール運営者に寄り添い、オルタナティブスクール運営をサポートします。この事業を通じて、日本全国に学校に通えない子どもたちが必要な学びや体験ができる場を増やし、子どもたちが自分らしく幸せに生きていける社会の実現に貢献していきます。

オルタナティブスクール プラットフォーム事業

ヒト



オンラインでの学習サポート

オンラインでのカリキュラム提供

インターン生の採用サポート

オルタナティブスクールの運営には、学習や体験活動など多岐にわたるサポートが必要であり、人材の確保が難しい課題です。私たちはその解決策として、オンラインでの学習サポートや魅力的なカリキュラムの提供を実施し、充実した教育環境の実現をお手伝いします。

カネ



特別奨学生制度の適用

助成金・補助金獲得のアドバイス

クラウドファンディング実施支援

スタディプレイスの強みである、経済的に困難を抱える世帯を対象とした「特別奨学生制度」を適用することで、生徒獲得の裾野を広げ、地域社会への貢献が可能です。また、NPO法人としての10年間の運営経験に基づく、助成金・補助金の獲得やクラウドファンディング実施など、安定運営のための資金調達をサポートいたします。

モノ



ICT端末の調達

学習管理ソフト活用サポート

オルタナティブスクールを効率的に運営するために、ICT端末の調達や導入をサポートします。また、スタディプレイスが利用している学習管理や生徒情報管理のソフトウェア活用のノウハウも提供いたします。最新テクノロジーを活用したスムーズなスクール運営を確立するお手伝いをいたします。

情報



NPO法人設立・認定取得のサポート

運営者ネットワークへの参加

EA3のホームページでの情報発信

オルタナティブスクール運営が必要となるNPO法人化や認定NPO法人格の取得をサポートします。運営者ネットワークへの参加による情報共有や研修参加に加え、EA3ホームページでの情報発信により、スクールの持続的運営をサポートいたします。



小規模フリースクール



学習塾